沖縄全軍労ストと連帯統一行動に決起せよ！

太E60 羽田分区
（全医大 全医研）

太E生田に登校したすべての学友諸君！日々の闘いを続け闘いぬいている同志諸君！

12月10日、コザで起った暴動に恐怖した反革命政府は、暴徒罪を適応し日米共同声明路線＝本土・沖縄一体化政策からはみ出した部分を断固として包摂しようとしている。日帝ブルジョワジーの攻撃は、アジアの平和安保の下、「七〇年沖縄返還」に向けた「返還協定」と相調印「在日沖縄米軍の近代的整備」、そして「四次防」としての自衛隊の帝国主義軍隊化、国内各基地の拡張（宮古島ミサイル基地建設もその一つとしてある）として反革命総戦体制の布陣としてある。沖縄国政参加選挙粉砕として上から、その議会制ブルジョワ独裁でしかない官僚的軍事的統治機構の再編をなし、靖国神社法等々に見られる、帝国主義ナショナリズムの強政をもって戦争経済体制の完成へ向かおうとしている。そうした下で労働人民、とりわけ沖縄プロレタリアートの闘いは、米軍基地に労働者三千名の解雇に対して、新たなストライキ闘争が吹き出てきたとしている。入管法国会再上程等々に見られるアジア人民、とりわけ朝鮮人民に対する帝国主義工場下での犯罪をもとにした帝国ブルジョワジーのその危機の延命を重に計ろうとして、また、あらゆる政治過程における攻勢は、その社会運動と連合されたブルジョワジーと資本家の、労働力の確保と圧倒的なその工場下における、労務管理の強化となって労働者のたたかいを弾圧し、監獄的状況を作り出そうとしている。

帝国主義ブルジョワジーに対する我々の闘いは、その復帰に果つかり、沖縄奪還を叫ぶ、沖縄の復帰運動をなそうとする右翼日革命者と区別された沖縄の本土を貫く、労働者政府の樹立、それはならず、その現在的基礎である、労働者、学生、農民、貧しく、ソビエト運動であり、まさしく、60年日大、東大闘争、全国闘争がはらんでいた、その課題と、権力問題を見つめ、一つの要求を階級的に位置づけていく、そうした未来性をソビエト運動であるそしてそれは、日帝ブルジョワ政府打倒、琉球政府打倒、本土・沖縄を貫く、巨大なプロレタリア統一戦線の形成をもってしかない。すべての闘う学友諸君！沖縄全軍労スト連帯行動に決起せよ。

アジアの平和共同安保粉砕！
帝国主義ブルジョワ政府打倒！
琉球政府打倒！米民政府打倒！
新全総粉砕！三里塚人民抑圧四号粉砕！
沖縄ソビエト建樹！武蔵野南線粉砕！

生田地区沖縄行動委員会
反帝学評（準）